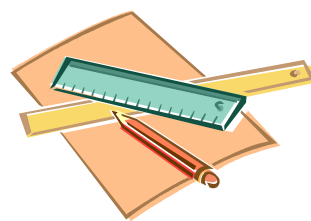


令和5年度

第2学年

『学習のしおり』



河内長野市立 西中学校

令和5年度 学習のしおり

もくじ

	教 科	頁
1	国 語	1～2
2	社 会	3～4
3	数 学	5～6
4	理 科	7～8
5	英 語	9～10
6	音 楽	11～12
7	美 術	13～14
8	技 術	15～16
9	家 庭	17～18
10	保健体育	19～20

●学習目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言葉活動に親しんだり、理解したりすることができる力を身に付ける。
- 論理的に考える力や、共感したり想像したりする力を養い人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 言葉が持つ価値に気づき、理解を深めるとともに、読書に親しみ、思いや考えを伝え合おうとする態度を身に付けていく。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 国語2 光村図書 中学書写 教育出版 副教材 国語の学習2 浜島書店 すらすら基本文法 浜島書店 単元別漢字の学習2 明治図書</p>	<p>持ち物</p>	<p>教科書 ファイル 副教材(各ワークなど)</p>
<p>学習の進め方</p>	<p>【 確かな学力を身に付けよう 】 ○言葉や表現に興味。関心を持ち読書に親しもう。 ○教科書を読み込もう。 ○学習のめあてを理解し、授業に真剣に取り組もう。 ○授業中、聞き取ったことをメモで整理しよう。 ○学習の振り返りに、授業プリントを見直すなど活用しよう。 【家庭学習】 ○授業の前に必ず教科書を読んでおこう。 ○復習は必ず行い、要点を整理しよう。</p>		
<p>学習上の留意点</p>	<p>○授業に必要なものを確認し、課題の提出など、学習のための準備を整える。 ○授業に集中して取り組めるよう、体調を整えて授業に臨む努力をする。 ○社会の出来事や読書に興味関心を持つことも、学習の力を伸ばします。 ○根拠をもとに自分の思いを話したり、記述できるよう意識しましょう。</p>		

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	授業への準備 「見えないだけ」 「アイスプラネット」	中間テスト	知識・技能 ○伝統的な言語の文化に積極的に取り組もうとしている ○言語表現における効果や技能を理解し表現できる。	○提出物 ○定期テスト ○実力テスト
5	「枕草子」 「クマゼミ増加の原因を探る」 「熟語の構成」			
6	「具体と抽象」 文法「単語をどう分ける」 「短歌に親しむ」 「言葉の力」	期末テスト	思考・判断・表現 ○人に自分の考えを伝えようとしている ○他人の話の内容を的確につかんでいる ○根拠をもとに話すことができる。	○提出物 ○表現活動
7	「メディアを比べよう」 「類義語・対義語・多義語」 「思考の視覚化」 「読書をたのしむ」			
9	「資料を示してのプレゼンテーション」 「翻訳作品を読み比べる」 「盆土産」 「字のない葉書」	中間テスト	○適切な言葉を選び、表現できる。 ○丁寧な文字で文面を整えて書くことができる。	○提出物 ○定期テスト ○実力テスト
10	「同じ訓・音を持つ言葉」 「表現を工夫して手紙や電子メールを書く」 文法(形容詞・形容動詞)			
11	「モアイは語る」 「月夜の浜辺」 「平家物語」	期末テスト	○表現上の工夫や、語句のまとまりを理解することができる ○文章を読んで自分の意見を持つことができる	○提出物(点検)プリント等 ○定期テスト ○実力テスト
12	書写②「行書と仮名の調和」 「徒然草」 「漢詩の風景」			
1	「君は最後の晩餐を知っているか」	学年末テスト	主体的に学習に取り組む態度 ○意欲、関心をもって課題に取り組む姿勢が感じられたか。 ○意欲的に自ら学習を進められたか。 ○国語の楽しさや国語の良さについて気づき粘り強く考え、国語を生活や学習に生かそうとしている。	○行動観察(態度・発言など) ○提出物(点検)
2	文法(助詞・助動詞あ9			
3	「鑑賞文を書く」 「本の世界を広げよう」 「走れメロス」 「構成や展開を工夫して書こう」			

状況に応じて学習の順序が変わることや別の教材を用いることもあります。
教材ごとに適宜、表現活動を取り入れる予定です。

●学習目標

- 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料より様々な情報を効果的に調べまとめられる技能を身につけるようにする。(知識・技能)
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。(思考・判断・表現)
- 社会的事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さを自覚できるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)

●学習を進めるに当たって

使用教材	「中学社会地理的分野」 帝国書院出版 「中学社会歴史的分野」 帝国書院出版 地理・歴史の問題集 地図帳 帝国書院	持ち物	教科書・ノート 地図帳・問題集 色鉛筆・ファイル (色ペン・マーカーペンも可)
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしておく。 ○ 発問に対して、積極的に考えてみる。 ○ 作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにする。 ○ 積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにする。 <p>《過程学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予習・復習を大切にし、授業でやった内容を家庭で確認しておく。 ○ 授業でとった板書内容やメモを整理しておく ○ 新聞やニュースなどを見る習慣をつける。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な内容や意味をまとめて理解しておく。 ○ 授業中で行った内容をしっかりまとめ、確認しておく ○ グラフや表などの資料が読み取れ、地図を使いこなせるようにしておく。 ○ 時間内で解答できるように、時間を意識して解答に挑戦する。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持ち物を忘れずに持ってくるようにする。 ○ プリントをしっかりとめ、先生が話した内容などのメモがとれるように日頃から意識して授業にのぞむ。 ○ 聞くととき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加する。 		

●学習内容及び評価について

		学習計画		評価に当たって		
月	単元計画		試験	評価の観点	評価の場面・方法	
	地理	歴史				
4		第3章	中間テスト	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・何を理解しているのか、何ができるのかを主体的に把握している。 ・学習プリントやノートなどを丁寧に作成し提出している。 ・地図やグラフなどの資料から、情報を収集し、選択し読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期テスト ・ワーク学習
5		武家政権の展開と世界の動き				
6		第1節 大航海により結ぶ世界				
7		第2節 戦乱から全国統一へ				
8		第3節 武士による支配の完成				
9		第4節 天下泰平の世の中				
10	第5節 社会の変化と幕府の 対策	期末テスト	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して、きちんと考察している。 ・課題に対して、既習の知識をもとに、正しい考察の上で判断ができる。 ・課題に対して、自分の意見や考えを文章記述や発表などの言語活動を通じて表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動 ・意見発表 ・定期テスト 	
11	第2章 日本の 地域的特色					
12	第3章 日本地域					
1	・九州地方					
2	・中国・四国地方					
3	・近畿地方					
4	・中部地方					
5	・関東地方					
6	・東北地方					
7	・北海道地方					
8	第4章 近代国家の歩みと社会	中間テスト	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や写真、グラフなどの資料から情報を収集、選択して読み取り、いろいろな場面に利用することができる ・図や表を用いて提出課題にまとめることができる。 ・授業に前向きに参加している。 ・粘り強く知識を得よう努力できる。 ・発問や話し合い活動に対して、積極的に参加し、考えようとしている。 ・プリントやノートなどをていねいに作成し提出している。 ・世の中のニュースをある程度認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 ・意見発表 ・定期テスト ・提出課題 	
9	第1節 欧米における近代化					
10	第2節 開国と幕府の終わり					
11	第3節 明治政府の近代化					
12	第4節 近代国家への歩み					
1	第5節 帝国主義と日本					
2	第6節 アジア強国の光と影	学年末テスト				

●学習目標

- 文字を用いた式について、計算したり変形したりする能力を養い、連立方程式について理解し用いる能力を育てる。
- 基本的な平面図形の性質について、理解を深めるとともに、数学的な推論の意味や方法を理解し、論理的に考え表現する能力を育てる。
- 一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現する能力を育てる。
- 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を育てる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「新しい数学2」東京図書 ワーク プリント 授業配布プリント	持ち物	教科書 ワーク ノート
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を前向きな姿勢で集中して受ける。 ・黒板に書かれた内容をしっかりとノートやプリントに書き写す。 ・積極的に発表や質問をする。 ・分からない部分はその日のうちに解決する。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を大切にし、授業の内容を確認する。 ・学習した内容を、ワークを中心に何度も反復練習をしたり、問題の考え方を理解したりする。まちがったところやむつかしいところは、解答を参考にしてやり直しをする。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、ワーク、プリントをしっかりと見直す。 ・授業の内容をしっかりと確認する。 ・テスト前の復習プリントやワークを中心に何度も反復練習をする。 ・解き方や公式を理解し、使えるようにする。 		
学習上の留意点	<p>私たちは生活の中で、いろいろな計算を使います。そして様々な活動をするときに、どの方法で取り組めば能率的に行えるだろうかということを考えます。</p> <p>また、人に何かを説明するとき、順序立てて話さないと言いたいことがうまく伝わらないこともあります。数学は計算力だけでなく、ものごとを筋道立てて考えたり、多面的に物事を見るなどの力をつけるための時間です。だから答えを出すことだけを考えるのではなく、答えを導き出す過程を大切にしてください。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	1. 文字式を使って 説明しよう 1節 式の計算	中間テスト	知識・技能 ○多項式の計算をすることができる。 ○簡単な連立方程式を解くことができる。 ○1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解し、関数関係を表、式、グラフを用いて表わすことができる。○基本的な平面図形の性質や三角形の合同条件について理解している。○仮定と結論、逆の意味を理解し、三角形や平行四辺形の基本的な性質を理解している。○簡単な場合について確率を求めることができる。 ○データを整理し箱ひげ図で表すことができる。○上以外の評価観点については授業中に話します。	○授業中の確認問題 ○発言、発表 ○実力テスト ○定期テスト
5	2節 文字式の利用			
6	2. 方程式を利用して 問題を解決しよう 1節 連立方程式と その解き方			
7	2節 連立方程式の利用			
8	3. 関数を利用して 問題を解決しよう 1節 1次関数	期末テスト	思考・判断・表現 ○多項式の計算をする方法を考えまとめることができる。○簡単な連立方程式を解く方法を考えまとめることができ、その利用ができる。○1次関数の変化や対応の特徴を見出すことができる。 ○基本的な平面図形の性質を見出し説明することができる。○三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめ説明することができる。○確率を求めることが方法を考えまとめることができる。○箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を読み取ることができる	○授業中の確認問題 ○発言、発表 ○実力テスト ○定期テスト
9	2節 1次関数の性質と調べ方			
10	3節 2元1次方程式と1次関数			
11	4節 1次関数の利用			
12	4. 図形の性質の調べ方を 考えよう 1節 説明のしくみ	中間テスト	主体的に取り組む態度 ○数学活動の楽しさや数学のよさについて気付き粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたりしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。	○授業プリント ○ワーク ○提出物 ○発言、発表 ○忘れ物等 ○授業態度
1	2節 平行線と角			
2	3節 合同な図形			
3	5. 図形の性質を見つけて 証明しよう 1節 三角形	学年末テスト		
4	2節 平行四辺形			
5	6. 起こりやすさをとらえて 説明しよう 1節 確率			
6	2節 確率による説明			
7	7. データを比較して 判断しよう 1節 四分位範囲と 箱ひげ図			

●学習目標

- 自然界の様々な現象に対する関心を高めよう
- 目的意識を持って観察・実験などをおこない、科学的に調べる力をつけよう。
- 自然の事物・現象についての理解を深めよう。
- 科学的な見方や考え方を養い、自分の考えを表現する力をつけよう。

●学習を進めるに当たって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書「未来へひろがるサイエンス1」 啓林館 ○ ワーク「学習整理 理科2年」 学宝社 	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書 ○ ノート ○ ワーク ○ のり
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の様々な現象に興味・関心を持とう。 ○ 学習の目標をとらえ、授業は真剣に取り組もう。 ○ ノートや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。 ○ 宿題はもちろん、自分で課題を見つけ、家庭学習をしっかりとやろう。 ○ わからないところは、自分で調べたり、誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復習はその日のうちに行い、授業を思い出しながら、教科書・ノートなどをもう一度見直す。(わからないところはそのままにしないでどんどん質問しよう) ○ プリント、教科書のなどの問題を解いてみる。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。 ○ 教科書・ノート・プリントなどをよく見直し、十分に理解しておこう。 ○ 問題練習をできるようになるまで、繰り返しやろう。 ○ 学習計画をきちんとたてて、実行していこう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ノートなどは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○ 教室での席移動・理科室への移動はチャイムの鳴る前に完了しておこう。 ○ 授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ○ 先生や発表者の話をしっかり聞こう。 ○ 実験によっては危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具や危険をとまなうものもあります。先生の指示がある前から器具にふれたり、勝手なことをしないこと。また、実験中もふざけないこと。 		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	1.化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち	中間テスト	知識・技能 ○観察や実験の方法を正しく身につけているか。 ○図やグラフを工夫し作成することができたか。 ○自然に関するいろいろな用語の意味や観察・実験の方法などを正しく理解し、確実な知識として身につけ、適切に活用することができたか	・ノート ・プリント ・定期テスト ・実力テスト
5	2章 物質の表し方			
6	3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量			
7	2.生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき	期末テスト	思考・判断・表現 ○疑問を解決する方法を考え、観察や実験などの結果から筋道立てて考え、規則性を見つけ出し表現することができたか。 ○記述問題や論述問題に取り組み、筋道を立てて説明できたか。	・ノート ・プリント ・定期テスト ・実力テスト
8	3章 動物の体のつくりとはたらき			
9	4章 動物の行動のしくみ			
10	3.地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のように	中間テスト	主体的に取り組む態度 ○意欲、関心を持って課題に取り組む姿勢が感じられたか。 ○意欲的に自ら学習を進められたか。 ○理科の楽しさや理科のよさについて気付き粘り強く考え、理科を生活や学習に生かそうとしたりしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。	・行動観察(態度・発言など) ・提出物 ・プリント ・小テスト等
11	2章 大気中の水の変化			
12	3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季			
1	4.電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体	学年末テスト		
2	3章 電流と磁界			
3				

●学習目標

○英語での言語活動(インタビュー、スピーチ、チャットなど)やグループ・ペア活動に積極的に参加し、他者とのコミュニケーションを大事にする姿勢を身につける。

○「読む・書く・話す・聞く」を日常的に反復し、自分を表現する力を身につける。

○異文化に触れることで広い視野をもち、興味をもって学習に取り組めるようになる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 Sunshine 授業配布プリント 指定の副教材	持ち物	教科書 マスター(ムーミン)ノート 4本線/大学ノート ワーク
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの力をバランスよく身につけましょう。 ・実際に英語を使って、積極的にコミュニケーションをとるようにしましょう。 ・外国の文化にも興味を持ちましょう。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、継続して、学習する習慣をつけましょう。 ・日常的に「単語練習」「本文の音読」を行い、最終的には「書ける」ようになりましょう。 ・授業で習った内容を、その日のうちに、ワークや、練習ノートで復習しましょう。 ・学校では学校の授業で行えることのみ行いますので、それを補う家庭学習はとても大切です。日々の宿題、復習に取り組みましょう。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、ワークをしっかり見直しましょう。 ・発音と綴りの関係を意識し、声に出しながら単語を書いて覚えましょう。 ・教科書の基本文を暗唱できるようにしましょう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておきましょう。 ・ネイティブや先生の発音をしっかり聞き、英語の発音を意識しましょう。 ・まちがいを恐れず、活動には積極的に参加し、分からないところは班の仲間に聞けるような、積極的な姿勢を身につけましょう。 ・提出物の提出期限は必ず守りましょう。 ・授業中は周りを尊重して活動しましょう。 		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	未来の文 接続詞 when if	中間テスト	① 知識・技能 ○学習内容の言語材料や文法項目の意味や働きを理解できる。 ○英文を読み、内容を理解できる。 ○英文や質問文の内容を理解できる。	○定期テスト・実力テスト ○パフォーマンステスト ○発表活動 ・学習内容の言語材料や文法項目の意味や働きを正確に理解しているかどうか。 ・英文の内容が正確に理解できているかどうか ・英文や質問文の内容を聞き、正確に理解できているか
5	接続詞 that 助動詞 must、have to			
6	to不定詞 動名詞			
7	スキット作り 読み物教材	期末テスト	② 思考力・判断力・表現力 ○学習内容の言語材料や文法項目を使って、自分の思いや考えを表現できる。 ○自分の思いや気落ちを整理し、気持ちを込めて発表や音読ができる。	○定期テスト・実力テスト ○パフォーマンステスト ○提出物 ○発表活動 ・学習内容の言語材料や文法項目を適切に利用し、自分の思いや考えを表現できているかどうか ・自分の思いや気持ちを整理し、気持ちを込めて発表や音読ができているかどうか。
8	比較の文(-er、-est) 比較の文(more～、most～) (better、the best)			
9		実力テスト		
10	how to～ 第3文型 第4文型	中間テスト	③ 主体的に学習に取り組む態度 ○学習内容の習得にむけて、主体的に取り組むことができる。 ○発表活動やペア・グループワークに積極的に参加することができる。	○授業に対する意欲・態度 ○パフォーマンステスト ○提出物 ○発表活動への取り組み ・学習内容の習得にむけて、概要や要点を主体的に捉えようとしているかどうか。 ・発表活動やペア・グループワークで、積極的に参加しようとしているかどうか。
11	受け身の文 スキット作り	期末テスト		
12	読み物教材 現在完了(完了)			
1	現在完了(経験) 現在完了(継続)	学年末テスト		
2	スピーチ 読み物教材			
3				

●学習目標

- 音や音楽への興味・関心を養い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、様々な鑑賞を通して音楽の良さや多様性を感じ取る。
- 豊かな音楽活動をめざし、基礎的な表現(歌唱・器楽・創作)の技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を高める。
- 多様な音楽を味わい、そのよさや美しさを感じることで、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 中学生の音楽 2・3上 (教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社)</p>	<p>持ち物</p>	<p>教科書2冊 アルトリコーダー 音楽ノート 音楽ファイル</p>
<p>学習の進め方</p>	<p>[豊かな学力を身につけよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味をもって主体的に授業に臨む。 ○授業の準備をきちんとする。(忘れ物をしない) ○話をよく聞き、意欲的に練習や活動に参加する。 ○授業の中で学習した曲について、意見や感想を持つようにする。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実技の練習(リコーダー)を行うように指導する。 <p>[定期テスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実技テストは基本として授業時間内に行う。 ○毎回の授業での活動や練習を大切にする。 ○定期テストは每学期行う。授業内容をしっかりと理解すること。 		
<p>学習上の留意点</p>	<p>基礎的な声の出し方や楽器奏法の技能や表現を学ぶことで、積極的に表現をしようとする意欲を高め、互いの個性を認め合い、共に表現する楽しさや喜びを感じあう。また、「音」はすぐに消えてしまう1回限りのものであることを理解し、美しいハーモニーを作る為に、集中して「聴く」態度を心掛ける。一人ではできない合唱をみんなと協力して取り組み、のびのびと表現できる雰囲気を作る。「合唱」「器楽」そして「鑑賞」などを通して、音楽に対する感性を身に付け、音楽のもつ美しさ、素晴らしさを感じとり意欲的に取り組む。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	●合唱の楽しさを知ろう	知識・技能	○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、表現を工夫して歌っているか。 ○楽器の特徴をとらえ正しい奏法を身につけ表現しているか。 ○さまざまな音楽の背景にある文化や歴史を総合的に理解し聴くことができているか。	歌唱 器楽 定期テスト 実技テスト
5	●鑑賞 フーガのおもしろさを味わおう			
6	●楽典 速度や強弱を覚えよう			
7	●アルトリコーダー サミングを利用して色々な曲を演奏しよう	期末テスト	○歌詞の内容や曲想を感じ取りながらどのように表現したらよいか自分なりの思いや意図を持っているか。 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解してどのように音楽表現するかについて思いや意図をもっているか。 ○曲想にふさわしい歌い方で表現しているか。 ○曲の構成やオーケストラの音色に関心を持ちながら、全体を味わって聴いているか。	歌唱 器楽 ワークシート 定期テスト 実技テスト
9	●詩の内容と曲想の変化を感じ取り、強弱の変化を工夫して表現しよう			
10	●鑑賞 日本の伝統音楽に親しもう			
11	●アルトリコーダー アーティキレーションを意識して演奏しよう			
12	●創作 音楽づくり			
1	●歌詞のまとまりやフレーズを生かして歌おう	期末テスト	○日本の音楽や和楽器の音色の特徴を感じ取って聴くことができているか。 ○積極的に「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」に取り組むことができたか。 ○曲想を味わい、イメージを持って聴く学習に関心をもち、主体的に取り組もうとしているか。	歌唱 器楽 ワークシート
2	●鑑賞 曲のしぐみに注目して名曲を楽しもう			
3	●アルトリコーダー ●卒業式に向けて			
		主体的に学習に取り組む態度		

●学習目標

- 自ら進んで美術の活動に取り組み、美術を愛好する心を培い、うるおいのある心豊かな生活を創造する意欲を高めよう。
- 対象を深く見つめて感性や想像力を一層高め、独創的な見方や考え方を培おう。
- 自分のねらいに応じた構想や表現方法を工夫し、見通しを持って表現する力を伸ばそう。
- 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深めよう。
- 心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう力を高めよう。

●学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 美術2・3上 学びの実践と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来 (日本文教出版) 副教材 美術資料 (秀学社)	持ち物	教科書 ノート 美術資料 筆記用具
学習の進め方	<p>[確かな学力を身につけよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいをしっかりとらえ、目標をもって授業に臨もう。 <p><表現活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想力・計画的な構想力のもと試行錯誤をしながらも粘り強く取り組み、達成感や充実感を味わおう。 <p><鑑賞活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品などに対して自分の価値意識を持って味わい、自身の意見や感想をしっかりと持とう。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレビや新聞・インターネットなどで美術関連の番組や記事などに興味・関心を持とう。 ○美術館や博物館で本物に触れる機会をつくろう。 ○自分の作品を飾るなどして、生活の中に活かそう。 <p>[定期テスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期テストは每学期行う。 ○授業内で行うテストについての説明をしっかりと理解すること。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイム着席を守ろう。 ○授業に必要なものを忘れないようにしよう。 ○説明をしっかりと聞き、授業のねらいをとらえ、発想を広げよう。 ○創意工夫をして粘り強く取り組み、達成感を味わおう。 ○後片付けは責任をもってきちんとしてよう。 ○配布した資料等は、ノートに貼り付け、整理しておこう。 		

●学習内容及び評価について（2学年 美術科）

学習計画		評価にあたって					
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法			
4	ひと目で伝えるための工夫 ・単純化・強調で情報を整理する あの日を忘れない ・美術の力を考える	期末テスト	知識・技能 ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ○意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	作品 ワークシート テスト			
5	魅力を伝えるパッケージ ・中身や気持ちを工夫して表す						
6	日本美術の歩み						
7	動きを生かして印象的に ・映像を使って情報を伝える						
8							
9	仏像に宿る心 ・祈りの造形を感じ取る						
10	イメージを追い求めて ・あなたなりの形で表す 瞬間の美しさを形に ・躍動感を表す 私の色みんなの色 ・染の味わいを楽しむ 絵巻物の世界 漫画の魅力 ・気持ち、動き、時間を表す				思考・判断・表現	○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かな発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品 ワークシート テスト
11							
12	仲間との交流の中から ・共同製作で互いの良さに出会う						
1	ジジジチカピカポツポツパツ ・空間に光を飾ろう	学年末テスト	主体的に学習に取り組む態度 ○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度 ワークシート 練習課題 テスト			
2	浮世絵はすごい ・構図や技法に着目する						
3	受け継ぐ伝統と文化 手から手へ受け継ぐ ・伝統工芸の技と心を知る どこまで修復すべきか ・美術文化の継承を考える						

●学習目標

○ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

情報に関する技術

エネルギー変換に関する技術

- (1)エネルギー変換機器の仕組みと保守点検について
- ・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る。
 - ・機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる。
 - ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考える。
- (2)エネルギー変換に関する技術を利用した作製品の設計・製作について
- ・製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる。
 - ・製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検ができること。

生物育成に関する技術

- (1)生物の育成環境と育成技術について
- ・生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。
 - ・生物育成に関する記述の適切な評価・活用について考える。
- (2)生物育成に関する技術を利用した栽培について
- ・目的とする植物の育成計画を立て、栽培ができる。
- (1)情報通信ネットワークについて
- ・コンピュータの構成と基本的な情報処理のしくみを知る。
 - ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報の利用のしくみを知る。

●学習を進めるに当たって

教 使 材 用	教科書 「技術・家庭 技術分野」 開隆堂	持 ち 物	教科書 ・ ノート 筆記用具・クロームブック
学習の 進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○説明はしっかりきこう。</p> <p>○何事もじっくり考え、自分にできる精一杯の努力をしよう。</p> <p>○わからないところ、できていないところを明確にし、学習・実習に取り組もう。</p> <p>○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持とう。</p> <p>○実習中は、・安全第一に取り組もう。・説明中は静かにしよう。・マナーを守ろう。</p> <p>《家庭学習》</p> <p>○学校で習ったことを家で活用し、実践してみよう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○学習したことをしっかり復習し、テストに臨もう。</p>		
学習上の 留意点	<p>○忘れ物をしない。</p> <p>○提出物は期限を守り、きちんと仕上げて提出しよう。</p> <p>○実習においては、目的と方法を理解し、安全を第一に取り組もう。</p> <p>○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行おう。</p> <p>○生活の中で活用できるように工夫しよう。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって					
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法			
4	エネルギー変換に関する技術 ・私たちの生活とエネルギー ・電気エネルギーの利用	期末テスト	知識・技能 ・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 ・生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 ・エネルギーがどのような方法で変換、制御され、利用されているか理解している。 ・エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用しようとしている ・作物の栽培に関する生育環境を、生育状態に合わせた適切な管理作業をしている。 ・安全を踏まえた製作品の組立て・調整や、電気回路の配線ができる。 ・保守点検と事故防止ができる。	定期テストなど 提出物 行動観察 ノート 製作品 定期テストなど ノート			
5	・動力の利用						
6	・エネルギー変換の実際						
7	・製作品の構想と設計 ・電気実習						
8	・エネルギー変換に関する技術の評価・活用						
9							
10	生物の育成に関する技術 ・私たちの生活と生物育成				期末テスト	思考・判断・表現 ・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。 ・製作品が目的の動きをしない場合にその原因を追究し、製作品の検討及び修正をしている	行動観察 提出物 定期テストなど ノート
11	・生物の育成 ・作物の栽培 ・動物の飼育						
12	・水産生物の栽培 ・栽培技術と環境 ・栽培実習						
1	・生物の育成に関する技術の評価・活用	学年末テスト	関心・意欲・態度 ・作物に適した生育条件のあり方に関心をもち、自己の考えを積極的に表現している。 ・身の回りのエネルギーに関心をもち、エネルギーの変換方法やその利用について考えようとしている。	行動観察 プリント 提出物 ノート			
2	情報に関する技術 ・情報とわたしたちの生活 ・情報通信ネットワークの利用 ・コンピュータと情報処理						
3	・デジタル作品の設計と制作						

●学習目標

○生徒の生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活に関わる基礎的・基本的な知識及び技術を習得することによって、生活の自立を目指し、家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度を育てる。

家族・家庭生活

・中学生になった自分と家族との関わりをみつめ直し、家族関係をよりよくする方法を考えるとともに、家庭の機能は経済生活、社会生活の安定に基盤があることを理解する。

衣生活

・課題をもって、健康・快適・安全で豊かな衣生活に向けて考え、工夫する活動を通して、衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

食生活

・食品の特徴や調理上の性質について理解し、調理技術を習得する。
・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。

住生活

・住生活の課題を解決する力を養い、住生活を工夫し創造しようとする態度を育てる。

●学習を進めるに当たって

材 使 用 教	教科書 「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂	持 ち 物	教科書 ハンドノート ノート
学習の 進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○説明はしっかりききましょう。</p> <p>○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の努力をしましょう。</p> <p>○わからないところ、できていないところを明確にして、学習・実習をしましょう。</p> <p>○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持ちましょう。</p> <p>○各実習においては、安全第一に取り組みましょう。</p> <p>・説明中は静かにしましょう。</p> <p>・清潔にしましょう。</p> <p>・マナーを守りましょう。</p> <p>《家庭学習》</p> <p>○学校で習ったことを家で実践していきましょう。</p> <p>○家庭では、進んでお手伝いをし、家族の一員としての役割を果たしましょう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○授業中に学習したことをしっかり復習しましょう。</p>		
学習上の 留意点	<p>○忘れ物をしない。</p> <p>○提出物は期限を守り、きちんと提出しましょう。</p> <p>○くれぐれも安全を第一に実習を行いましょう。</p> <p>○実習においては、目的と方法を理解して取り組みましょう。</p> <p>○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行いましょう。</p> <p>○便利なものを利用したり、生活をよりよく工夫していきましょう。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって							
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法					
4	<p>家族・家庭と子どもの成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭のはたらき ・家庭の仕事を支える社会 ・わたしたちの家庭生活と地域 ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 	<p>期末テスト</p>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体と心の発達の特徴について理解している。 ・幼児の成長や生活は家族や周囲の人々に支えられていること気づき、家族や周囲の人々の役割の大切さを理解している。 ・遊び道具の役割を理解している。 ・幼児の特徴を理解し、関わり方を工夫できる。 ・肉、魚、野菜それぞれの特徴や調理上の性質について理解している。 	<p>定期テスト 実習作品</p>					
5									
6									
7									
8					<p>思考判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の年齢や発達の特徴を考えて、幼児の喜ぶ遊び道具をつくることができる。 ・幼児の心身の発達に応じ、安全に留意した幼児の遊び道具、遊び方について考え、工夫できる。 ・栄養バランスのとれた一日分の献立を考えることができる。 ・家族がこちよく住むために、住まい方を工夫することができる。 	<p>定期テスト 実習作品 授業プリント ハンドノート</p>		
9								<p>期末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊びと発達 ・幼児と遊ぶおもちゃづくり
10									
11	<p>学年末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の自立 ・持続可能な食生活 							
12			<p>冬休みの課題</p>						
1	<p>住生活の自立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらきとこちよさ ・安全な住まいで安心な暮らし 								
2									
3									

●学習目標

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性や健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。
- 運動や健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 中学保健体育[Gakken] 副読本・副教材 ステップアップ中学体育[大修館書店] 中学保健体育の学習②[Gakken]</p>	<p>持ち物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・半袖、ハーフパンツ ・ジャージ上下 ・単元に必要なもの (体育館シューズ・水着など) ・体育ノート
<p>学習の進め方</p>	<p>(確かな学力を身につけよう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育分野 <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる領域での運動能力の向上を図るとともに生涯にわたって運動に親しむ態度を養おう。 ・仲間と協力して互いに励まし合いながら課題に挑戦しよう。 ・ルールやマナーを守り安全な環境で運動を楽しもう。 ○保健分野 <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と病気の予防、傷害の防止、スポーツの効果について理解し、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養おう。 ○家庭学習 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に付けよう。 ○定期テスト <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろより授業中の説明や資料の解説、などを整理しておこう。(ノート) ・テスト範囲のお知らせプリントで内容を確認してしっかり勉強しよう。 		
<p>学習上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣を済ませ準備や整列をし、始業チャイムであいさつを始められるようにする。 ・準備や片付けを積極的に協力して行おう。 ・積極的に授業に参加し、目標に向かって努力しよう。 ・苦手な種目でもできない理由を考えて、あきらめないで挑戦しよう。 ・仲間の学習を援助しよう。 ・授業中の説明や話はしっかり聞き、ノートや資料に書き込むようにしよう。 ・保健の分野では準備物の忘れ物をせず、先生の話をしっかり聞き、常に自分のことに置き換えて、考えるようにしよう。 ・健康、安全に留意して取り組もう。 		

●学習内容及び評価について(2年)

		学習計画		評価に当たって					
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法					
4	・集団行動 体づくり運動 ・新体カテスト	健康な生活と病気の予防 ②	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのスポーツ種目の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力や、ルール、用語などについて理解しているか。 ・それぞれの種目の楽しさや喜びを味わい、記録や技能の向上が図れているか。 ・基本的な技能や仲間と連携した動きで試合を展開しているか。 ・保健分野の内容を健康や安全に関心を持ち、理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での活動 ・実技テスト ・学期末テスト 				
5	・走り高跳び(男子) ・跳び箱、平均台(女子)								
6	・跳び箱(男子) ・走り高跳び(女子)								
7	・水泳(男子 女子)								
8						期末テスト	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分やチームを振り返り、課題や改善点等がノートに明確に書かれているか。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたり、書き出しているか。 	
9	・体育大会練習 ・陸上(短距離走)								傷害の防止
10	・ソフトボール(男子) ・バレーボール(女子)								
11	・バレーボール(男子) ・ソフトボール(女子)					スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量を多くしているか。 ・安全に気を配り、準備や片付けを協力して行えているか。 ・早く更衣をすませ活動場所に来ているか。 ・それぞれの単元に積極的に取り組んでいるか。 ・体の健康に注意し、活動に参加しているか。 ・仲間とともに運動を楽しんでいるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のミーティングなど(観察) ・個人ノートの内容 ・授業中の発言(観察) ・授業中の活動量(観察) ・仲間への声かけ、指示(観察) ・授業中の発言、発表の様子(観察) ・出席率(参加率)、忘れ物や見学の有無
12	・長距離走(男子 女子)	期末テスト							
1	・ハンドボール(男子) ・ダンス(女子) ・体育理論		学年末テスト						
2									
3	・ダンス(男子) ・ハンドボール(女子)								